

PBL II -16 パッケージデザイン基礎／Project Based Learning II

担当教員／Instructor 山崎 茂, GD教員

対象学年／Eligible grade -

開講学期／Semester 2021年度／Academic Year 通年／One-Year

授業形態／Type of class

時間割コード／Registration Code PB16

単位数／Credits 2

備考／Remarks

オフィスアワー／Office hours

【サブタイトル／Subtitle】

【授業のねらい／Course Objectives】

前期では、包む・保護する・運ぶ・魅せるなどのパッケージデザインの基本をケーススタディを通し理解した上で、それらをテーマにした演習、課題制作を行う。

後期は、前期に学んだ基礎を基に、キフトパッケージをテーマにした課題制作を行い、パッケージデザインに対する発想力・構成力・表現力の向上を目指す。

【到達目標／Course Goals】

パッケージデザインに対する理解を深めた上で、既成概念に促されない自由な発想力と表現力を身につける。

【授業の展開計画／Class schedule】

第1回 : オリエンテーション
授業の主旨、前期授業日程説明、自己紹介

第2回 : 演習:課題1説明「包む・保護する」
ケーススタディ1:ハッケーシ`テ`サインとは(1)「包む・保護する」

第3回 : 演習:制作(1)
ハッケーシ`基礎造形(アイテ`アスケッチ)

第4回 : 演習:制作(2)
ハッケーシ`基礎造形(立体制作)

第5回 : 演習:制作(3)
ハッケーシ`基礎造形(立体制作)

第6回 : 演習:課題2説明「魅せる」
ケーススタディ2:ハッケーシ`テ`サインとは(2)「魅せる」

第7回 : 演習:制作(1)
ハッケーシ`基礎造形(アイテ`アスケッチ)

第8回 : 演習:制作(2)
ハッケーシ`基礎造形(立体制作)

第9回 : 演習:制作(3)
ハッケーシ`基礎造形(立体制作)

第10回 : 演習:講評
課題1・2 フォレゼンテーション・講評

第11回 : 演習:課題3説明「運ふ」
ケーススタディ3 ハッケーシ`テ`サインとは(3)「運ふ」

第12回 : 演習:制作(1)
ハッケーシ`基礎造形(アイテ`アスケッチ)

第13回 : 演習:制作(2)
ハッケーシ`基礎造形(立体制作)

第14回 : 演習:制作(3)
ハッケーシ`基礎造形(立体制作)

第15回 : 演習:講評
課題3 フォレゼンテーション・講評

第16回 : 演習:課題4説明「キ`フトハッケーシ`1」
ケーススタディ4 キ`フトハッケーシ`とは(1)/資料収集

第17回 : 演習:制作(1)
コンセプト作成

第18回 : 演習:制作(2)
アイテ`アスケッチ

第19回 : 演習:制作(3)
アイテ`アスケッチ/テ`サイン案

第20回 : 演習:制作(4)
ハッケーシ`制作

第21回 : 演習:制作(5)
ハッケーシ`制作

課題4 フォレセッション・講評

第23回 : 演習:課題5説明「キョフトハッケーシヨ2」
ケーススタディ5 キョフトハッケーシヨとは (2) /資料収集

第24回 : 演習:制作 (1)
コンセプト作成

第25回 : 演習:制作 (2)
アイテムスケッチ

第26回 : 演習:制作 (3)
アイテムスケッチ/テーマサイン案

第27回 : 演習:中間フォレセッション
テーマサイン案の中間発表

第28回 : 演習:制作 (4)
ハッケーシヨ制作

第29回 : 演習:制作 (5)
ハッケーシヨ制作

第30回 : 演習:講評
課題5 フォレセッション・講評/総評

【履修上の注意事項/Notices】

対象は全学科の2、3年生とするが、実技演習のため履修人数に30名の制限を設ける。

【評価方法/Evaluation】

課題提出、フォレセッション等、通常の成果物、及び出席の総合評価で単位認定する。

【テキスト/Textbooks】

なし。

【参考文献/Bibliography】

必要に応じ資料を配布する。

【準備事項/Preparation】

対面授業を基本とし、GoogleClassroomによるオンライン授業も併用する。